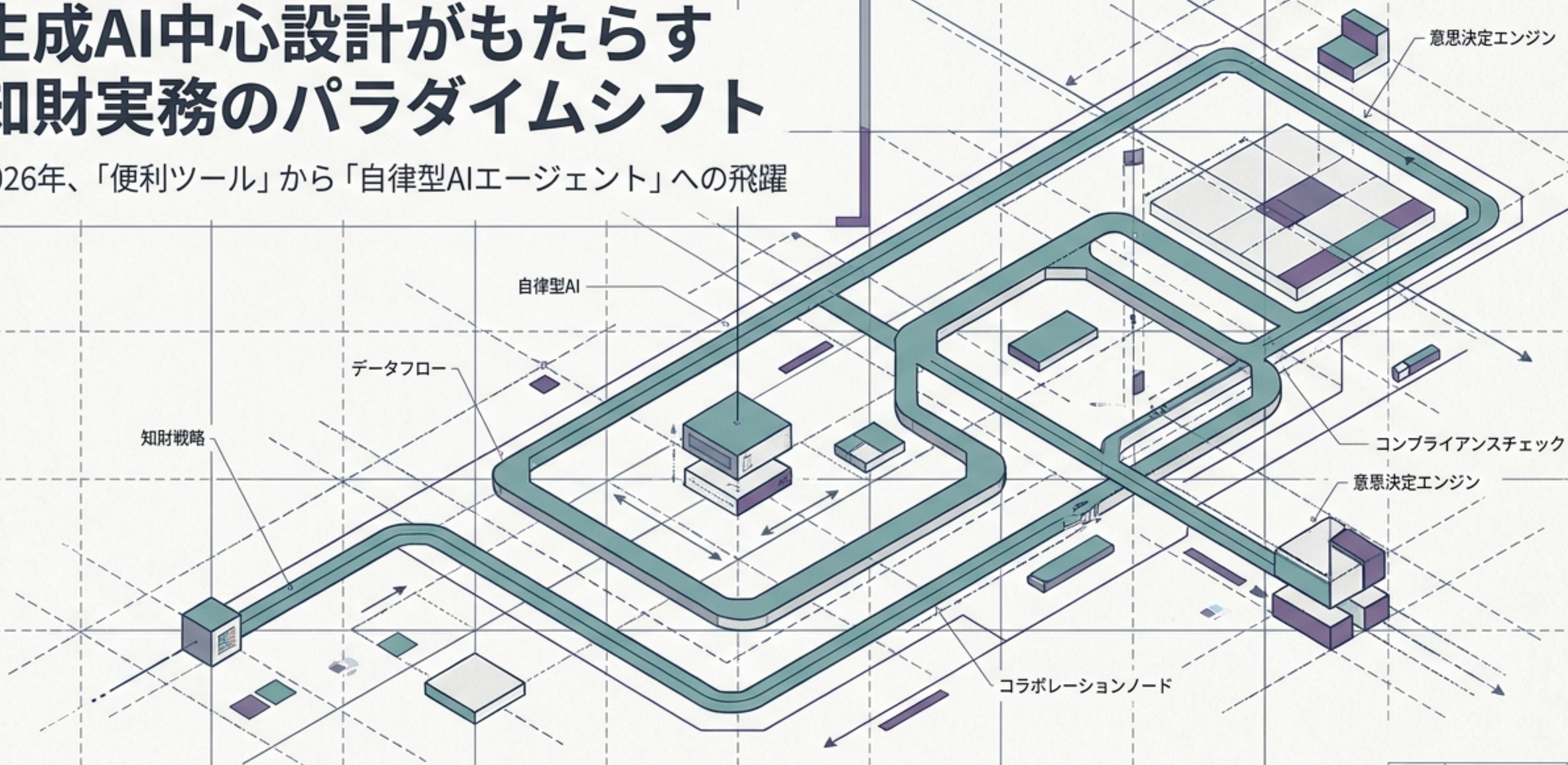


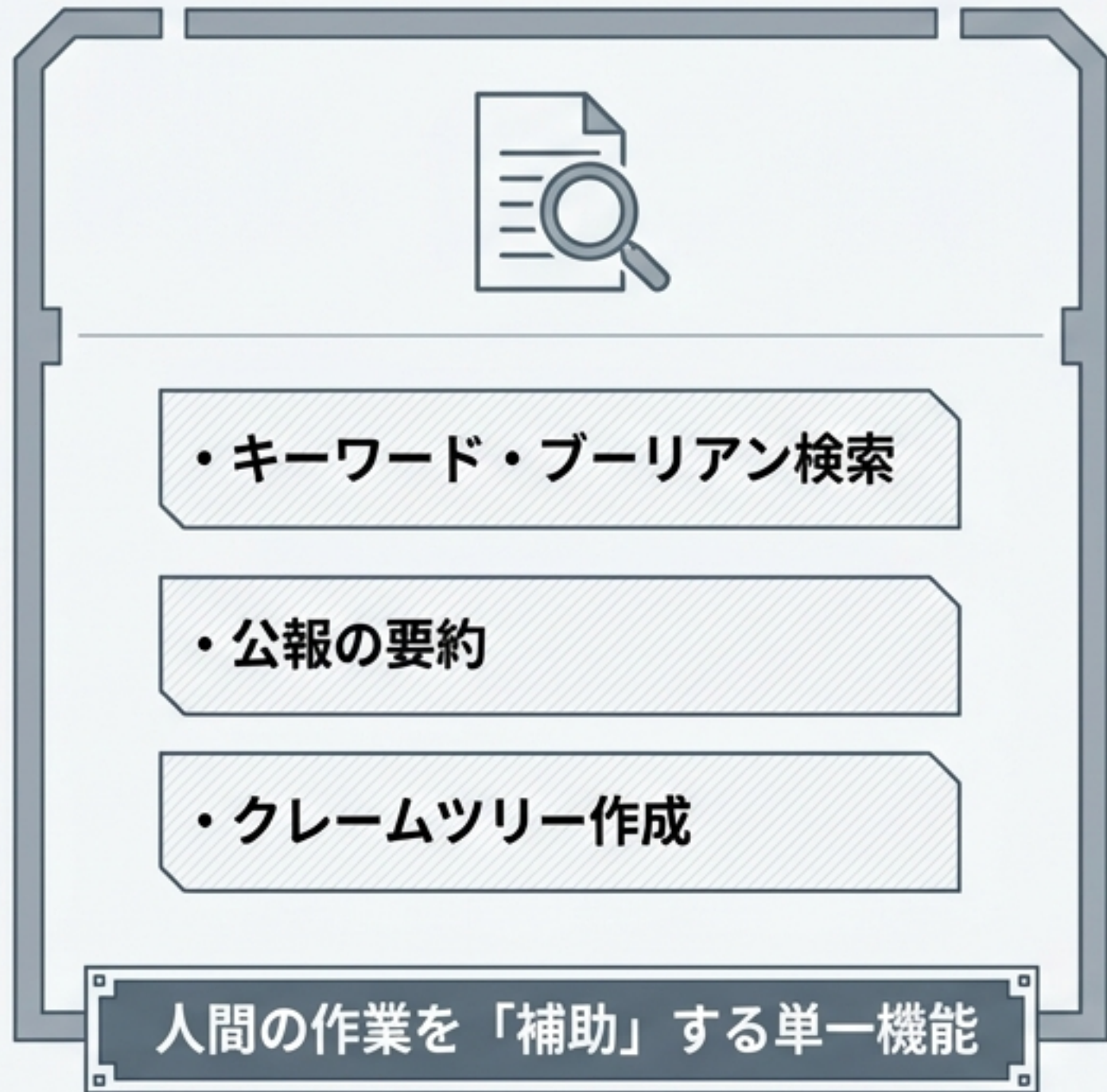
# 生成AI中心設計がもたらす 知財実務のパラダイムシフト

2026年、「便利ツール」から「自律型AIエージェント」への飛躍



REV	A	FIGURE
SCALE	NTS	
PROJECT	AI-IP PARADIGM SHIFT	

## 2024年：読解支援ツール



## 2026年：ワークフロー型AIエージェント



開発哲学「Generative AI-Centric Design」——AIを付加機能ではなく、システムアーキテクチャの根幹に据え、専門家の暗黙知を汎用プラットフォームへ実装。

【川上】 発明創出

従来：属人的・言語化の壁

提案書作成支援  
×  
試動フレームワーク

【定常】 監視・スクリーニング

従来：分断された手作業と目視

SDI統合  
×  
検索式一括指示  
(ゼロ・タッチ)

【川下】 権利化・拒絶対応

従来：主観的ヒューリスティクス

AIテキスト解析  
×  
審査官統計データ

強固な法的安全性



強固な法的安全性：

弁理士法第75条クリア・グレーゾーン解消制度活用

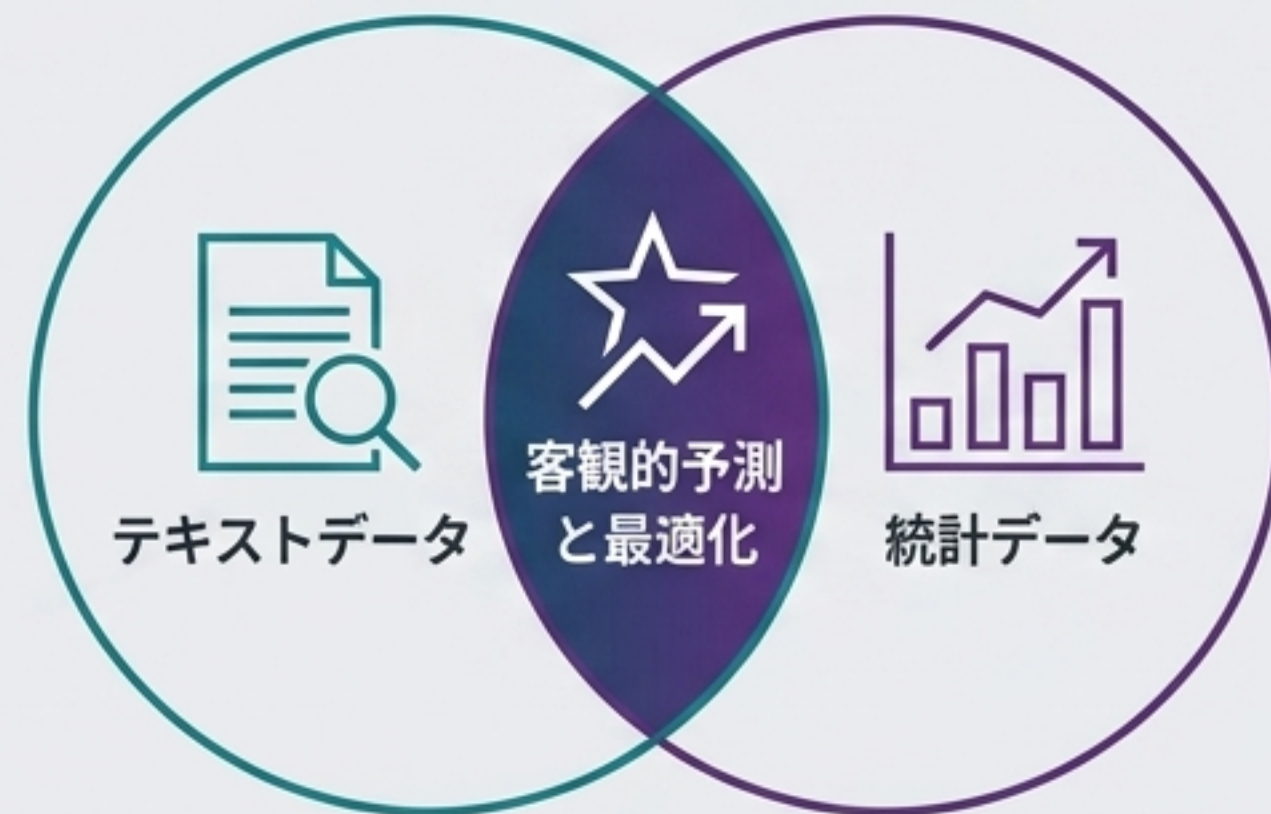
## 従来の中間処理： 主観的ヒューリスティクス



ベテランの経験則や記憶への依存。  
審査官ごとの技術的スタンスや法解釈の  
「ブレ」を属人的に吸収。



## 2026年： エビデンスベースド・アプローチ



「私の経験上…」から「統計データによれば…」への質的転換。勝率の客観的予測とリソース配分の最適化による、クライアントへの説明責任（アカウントビリティ）の飛躍的向上。

生成AIによる自然言語処理：  
引例と本願の技術的な一致  
点・相違点を自動抽出。

サマリア  
(生成AI)

テキスト解析・  
一致点抽出

データドリブンの  
戦略的拒絶応答

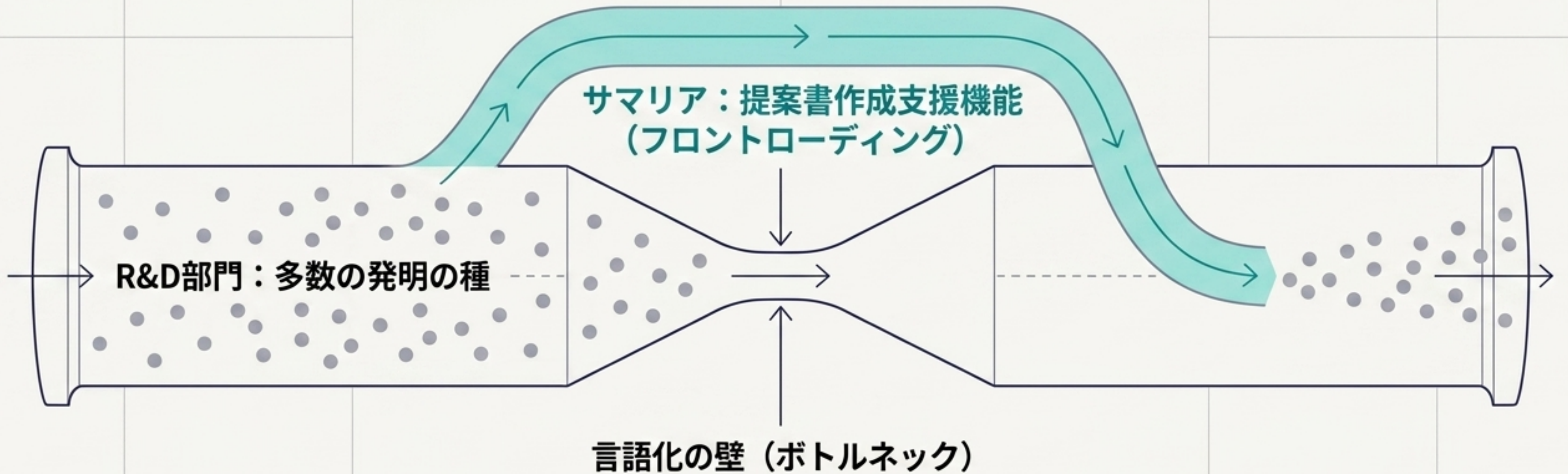
テキスト意味解析とメ  
タデータ統計解析の融  
合による「エビデンス  
ベースド知財戦略」。出  
力結果はPDF/Word等へ  
即座に書き出し可能。

審査官ラボ  
(JPO統計)

審査官の判断傾向・  
ばらつき可視化

審査官ラボ連携：  
JPO標準データの解析による  
審査官ごとの受容傾向・  
ばらつきを定量的に可視化。

日常的な技術用語や断片的なメモから、AIが対話的に要件を引き出し、自動で論理的な提案書・明細書ドラフトへ昇華。



特許庁が要求する法的フォーマット（課題・解決手段・効果）への変換スキル不足により、優良なアイデアが死蔵されるリスク。

# 暗黙知 (Tacit Knowledge)

日常の失敗、実験メモ、歩留まり改善の微小な気づき  
(ノイズを含む現場の知見)

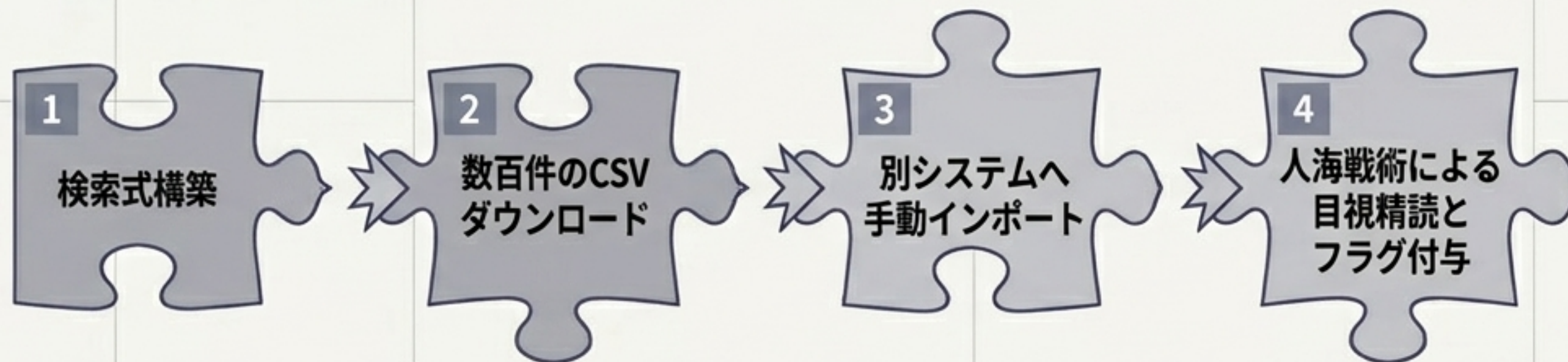
対話型AI × 試動フレームワーク  
(畑村洋太郎氏 提唱)

# 形式知 (Explicit Knowledge)



特許の必須構成要件への鮮やかな構造化。  
無効化書面の作成支援にも応用可能。

## 従来の実務（分断と手作業の連鎖）



結果：担当者の疲弊と監視漏れリスク

## サマリア2026（ゼロ・タッチ・スクリーニング）



結果：人間は高付加価値な判断（経営陣報告等）に専念。複数ツールの統廃合。

## 大手事業会社 (Enterprise Manufacturing)

パナソニック(株)

カヤバ(株)

HOYA(株)

主な導入目的：発明提案の質向上、SDI監視業務の完全自動化、無効資料調査の効率化

## 先進的特許事務所 (Advanced IP Firms)

弁理士法人IPX

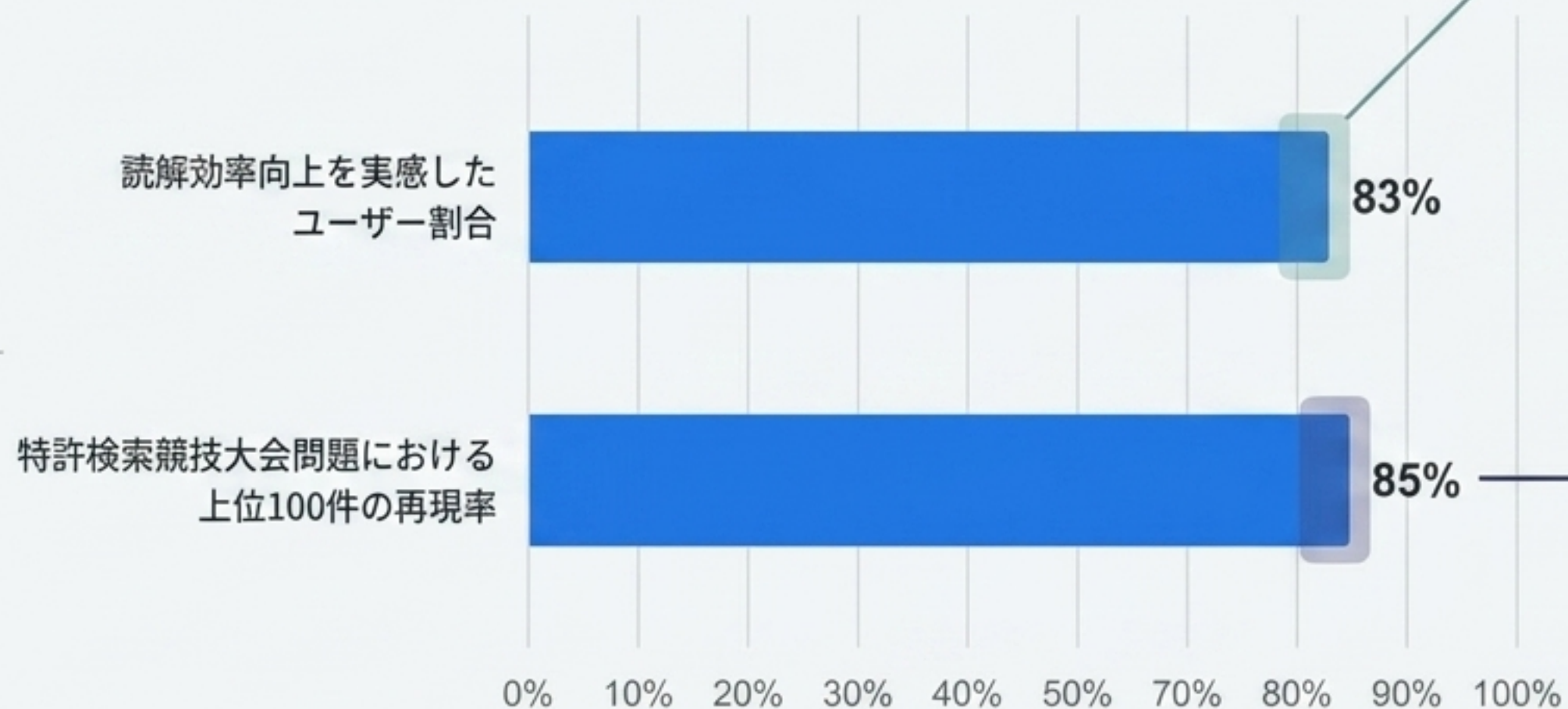
ザック国際特許事務所

ライトハウス国際  
特許事務所

きのか特許事務所

主な導入目的：明細書作成の支援、拒絶理由対応の迅速化、顧客向け説明資料の瞬時生成 (トップライン向上)

## 主要指標の達成状況（単位：％）



ユーザー満足度：83%

難解な特許請求の範囲を平易な言語へ変換し、図面と対比させる能力が、読解の「認知負荷」を劇的に低下。

検索再現率（Recall）：85%

特許検索競技大会の過去問における上位100件の再現率。プロの特許サーチャーが構築する緻密な論理検索に匹敵。侵害予防・無効調査において最もシビアな「見落としゼロ」の水準を客観的に証明。

脅威：弁理士法第75条との抵触リスク（非弁理士による代理業務・名義貸しの禁止）

## 経済産業省 「グレーゾーン解消制度」 の活用

### 公的クリアランス

経産省および特許庁からの  
適法性確認を取得済み。

### 法的ポジショニング

「書類作成の代行」ではなく、  
「専門家の監督下での自己判断  
による作成支援」と公式認定。

### 戦略的優位性

自社アルゴリズムの基本特許  
(3件)取得。厳格なガバナンス  
が求められる上場企業にとっ  
て最大の安心材料。



## 基幹システム連携

中小企業向け知財管理システム「root ip クラウド」（導入360社超）とのシームレス連携。期限・費用管理との統合。



## 教育インフラ

「特許の書き方講座」（受講者3,138名）、「読み方講座」（受講者925名）。知財リテラシーの底上げとオンボーディング。

# Summaria Platform

## ユーザー共創コミュニティ

第2回サマリアユーザー会。GUI基本操作からAPI/Pythonを用いたプログラマティックな大量公報自動処理ノウハウまで共有（アジャイル開発への直結）。





人間は「作業員」から  
「知財アーキテクト (IP Architect)」へ

AIが知財のフルサイクルを高速に処理し、多様な戦略オプションを提示。専門家（弁理士・知財部員）は、自社事業に最適な選択を行い、倫理的・法的な最終品質を担保する「アーキテクト」としての役割に特化する。これが、知財業界における真のAIトランスフォーメーション (AIX) である。

Summaria AI エージェント (高速処理・戦略オプションの提示)

R&Dアイデア  
(川上)

SDI自動化  
(定常)

審査官データ  
(川下)

法的シールド  
(コンプライアンス)